



駿河区マスコットキャラクター トロペー

しんすい 浸水ひなん地図

ないすい (内水ハザードマップ)

静岡市防災メール(登録用アドレス)

地震関連情報、気象関連情報などの防災情報を携帯電話等へお知らせするメール配信サービスです。ご利用の際は、以下の登録用メールアドレス(QRコード)に空メールを送信し、返信メールに従って登録して下さい。
siz-entry@tokyoanpi.sbs-infosys.com



防災情報電話案内サービス

「こちらは広報静岡です・・・」で始まる同報無線から放送された防災情報を、電話で確認することができます。
TEL:0180-99-5656

気象庁ホームページ(静岡地方気象台)

注意報や警報、気象情報、天気予報などが確認できます。その他、気象や天気に関する様々な情報が掲載されています。
https://www.jma-net.go.jp/shizuoka/



お問い合わせ先

しんすい 浸水ひなん地図について

静岡市 下水道計画課
TEL:054-270-9215
FAX:054-270-9216
https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_006003.html



公道内のマンホールのふたの異常について

静岡市 下水道維持課 保全係
TEL:054-270-9230 FAX:054-270-9241

静岡県サイボス(SIPOS)レーダー

静岡県が運営する地域密着型防災サイトです。ピンポイント天気予報をはじめ、気象情報、防災情報、ライブカメラ映像、雨量・水位情報をリアルタイムで提供しています。
http://sipos.pref.shizuoka.jp/



国土交通省 防災情報提供センター

国土交通省が運営する防災情報を集約したウェブサイトです。一級河川(安倍川)の水位や雨量、カメラ画像などの防災情報や、リアルタイム雨量などが確認できます。
http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/



高解像度降水ナウキャスト

気象庁が提供する防災気象情報のウェブサイトです。雨雲の動きや、今後の雨の予報を確認することができます。
https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/



こうすい 洪水ひなん地図、防災マップ、津波避難マップについて

静岡市 危機管理総室
TEL:054-221-1236
パソコン版:
https://www2.wagmap.jp/shizuoka-hazard/
携帯電話版:
https://www2.wagmap.jp/shizuoka-hazard-sp/



うすい 雨水貯留浸透施設の助成制度について

浸水対策の一環として、雨水貯留タンク等の設置に対して費用の一部を助成する制度を設けています。許可申請が必要なため、制度利用前にお問い合わせください。
静岡市 下水道維持課 排水設備係
TEL:054-270-9229 FAX:054-270-9241

目次

- 浸水ひなん地図の活用……P.1~2
- 浸水ひなん地図(全体図)……P.3~4
- MAP①~③(詳細図)……P.5~20
- 洪水ひなん地図の確認……P.21~22
- 降雨状況の把握……P.23~24
- 大雨時の避難……P.25~26

学区別地図索引

長田西……MAP①②	富士見……MAP⑥⑦	MAP①……P.5~6
長田北……MAP①	中島……MAP⑤	MAP②……P.7~8
長田東……MAP②	宮竹……MAP⑤⑦	MAP③……P.9~10
長田南……MAP②③	大里東……MAP⑤⑦	MAP④……P.11~12
川原……MAP②③	西豊田……MAP⑥	MAP⑤……P.13~14
大里西……MAP④	東豊田……MAP⑥	MAP⑥……P.15~16
中田……MAP④	大谷……MAP⑦	MAP⑦……P.17~18
森下……MAP④	東源台……MAP⑧	MAP⑧……P.19~20
南部……MAP④⑤		

※学区の概ねの該当ページとなります。



静岡市上下水道局
下水道部 下水道計画課
〒420-0035 静岡市葵区七間町15番地の1
TEL:054-270-9215 FAX:054-270-9216



静岡市上下水道局「水のキャラクター」しずみい



令和4年台風15号の大雨による川原地区被害状況報告



詳細は
川原地区社会福祉協議会HP

災害復旧活動

発災直後から被害状況確認と同時に、二次災害を防ぐために、川原地区社会福祉協議会と連携して消毒スプレーを浸水被害宅に配布するなど、迅速な対応を実施したことで、他地区よりも早い復旧となりました。

静岡市長による川原地区被災状況視察

令和4年10月8日(土)に田辺静岡市長が川原地区の被災状況確認に視察に来た際、川原自治会連合会白木康雄会長たちが被災状況説明と川原地区の浸水害対策の強化を市長に直接要望しました。



川原地区における浸水被害対策に向けて

静岡市長 田辺信宏 様
 川原自治会連合会 会長 白木 康雄
 川原水害対策特別委員会 委員長 青山 孝

令和4年10月26日

川原地区における浸水害対策への要望書

この度の令和4年台風15号は静岡市内に大きな被害をもたらした。川原地区においても床上浸水ほか多数の内水氾濫被害がありました。

川原地区は安倍川と丸子川に挟まれており、地形的な特性からたびたびと水害に見舞われてきました。川原地区住民にとって浸水害(河川洪水・内水氾濫)対策は切実な願いであり、今回の災害によってますます高まっています。

つきましては、川原地区における浸水害対策について次のとおり要望いたします。

記

- 下川原雨水貯留管の排水能力強化による雨水取り込み能力の向上
- 雨水貯留浸透施設の設置による降雨時の表面流出量抑制
- 雨水幹線の一部嵩上げ
- 側溝および水路機能の強化と適切な維持・管理
- 浸水害へのソフト対策の充実
- 丸子川治水対策(県と連携した対策)の強化

以上



令和4年10月26日(水)に、川原水害対策特別委員会と川原自治会連合会共催で、各自治会長、防災部長、連合婦人会、行政関係者を中心に今回の浸水被害状況報告と今後の対策について話し合いました。

最後に川原自治会連合会白木康雄会長と川原水害対策特別委員会青山孝委員長より連名で、静岡市に浸水害対策への要望書を提出しました。



記録的な大雨で静岡県内に大きな被害をもたらした令和4年(9/23-24)台風15号。

私たちが住む川原地区においても床上・床下浸水をはじめ、大きな被害がありました。

被害にあわれた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

今回の浸水被害状況と復旧状況を報告するとともに、今後の対策について静岡市に要望書を提出しましたので、情報を共有させていただきます。

私たちの地域で起こった災害になりますので、ぜひ一度ご覧いただき、「災害に強い川原」を実現するためにも引き続きご協力をいただければ幸いです。

**川原水害対策特別委員会
川原自治会連合会**

令和4年台風15号 被災者支援制度のご案内

被災された市民の方々が受けられる支援の案内や申請、相談を行う「被災者支援窓口」や、支援の内容や申請に必要なものを一覧表にまとめた「被災者支援制度のご案内」をご活用ください。

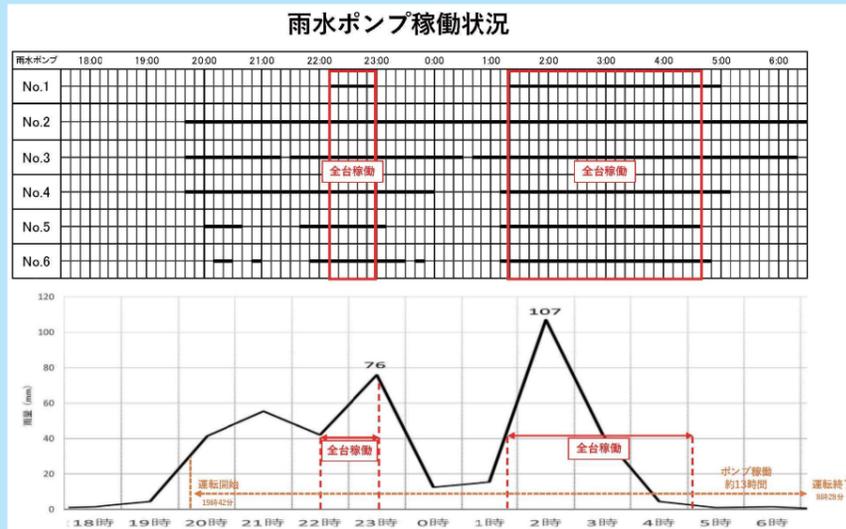
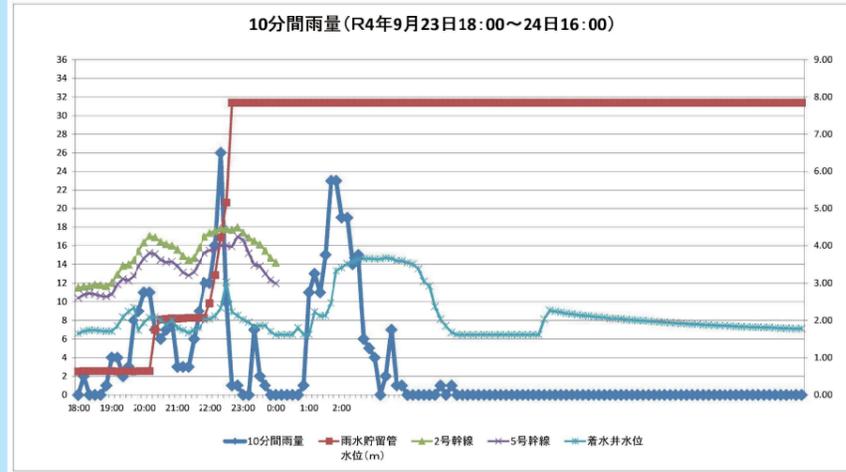
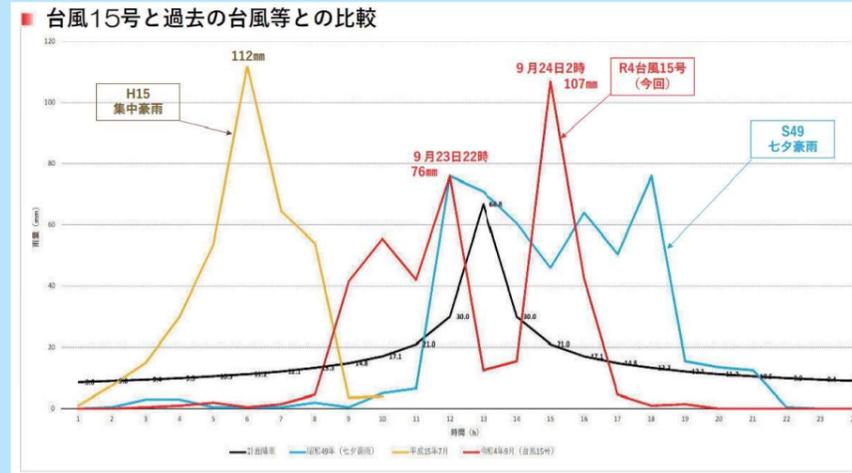
https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_002112_00004.html



台風15号の雨量とポンプ・雨水貯留管稼働状況

○令和4年台風15号と過去の台風等との比較（静岡気象台）

	種類	最大雨量			降雨時間
		24時間	1時間	10分	
今回：2022年（R4年）9/23～24	台風	417mm（2位）	107mm（2位） 91mm（4位）	26mm（3位） 25mm（7位）	約10時間
2019年（R1年）10/11～12	台風	411mm（3位）	43mm	13mm	約25時間
2017年（H29年）7/4	台風	97mm	85mm（7位）	23mm（8位）	約5時間
2014年（H26年）10/5～6	台風	337mm（6位）	61mm	14mm	約30時間
2004年（H16年）6/30	豪雨	368mm（4位）	88mm（5位）	18mm	約12時間
2003年（H15年）7/3～4	豪雨	345mm（5位）	113mm（1位）	29mm（1位）	約9時間
七夕豪雨：1974年（S49年）7/7～8	台風	508mm（1位）	83mm（10位）	21mm	約12時間

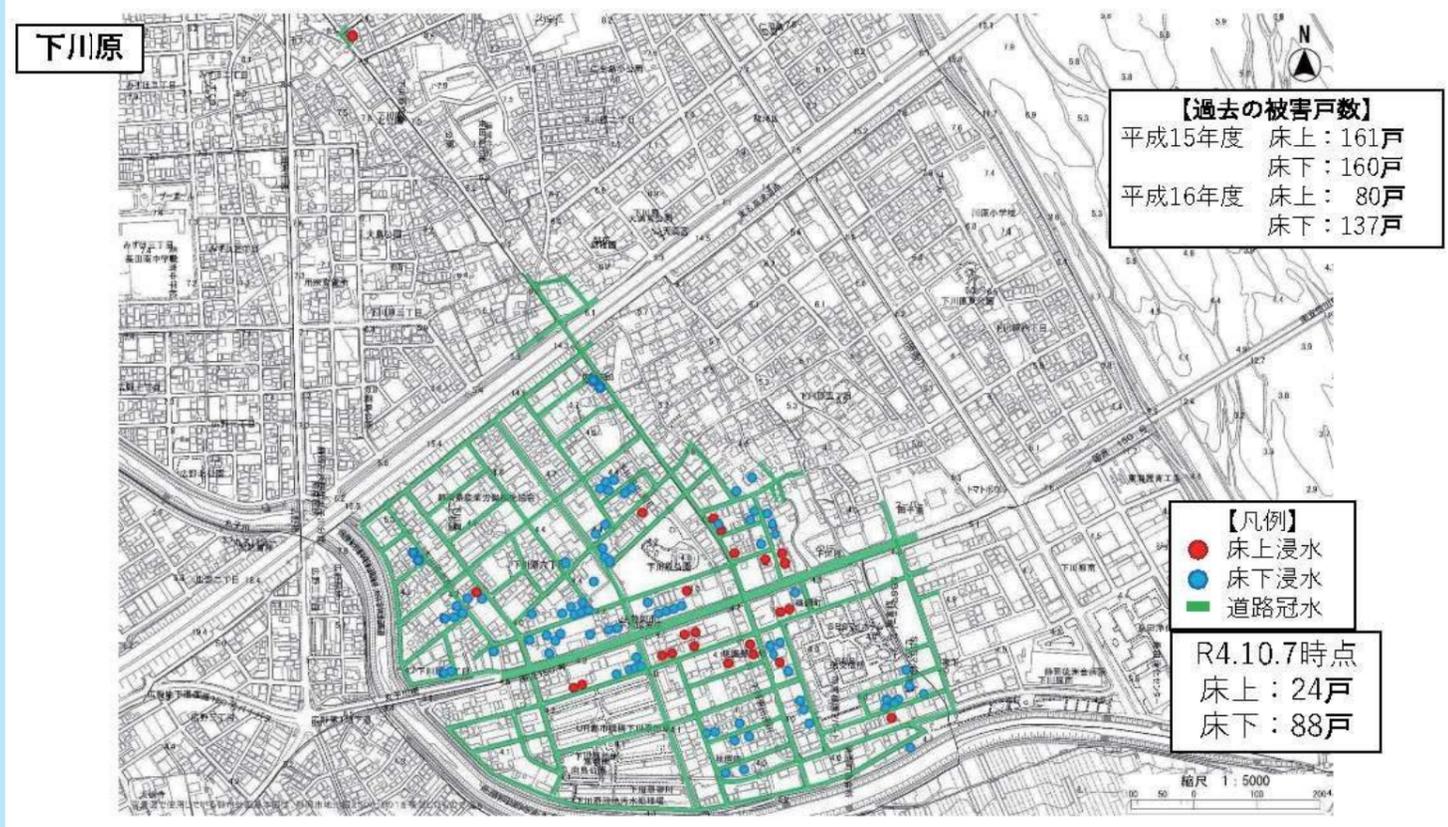


今回の台風15号の特徴は、「線状降水帯」が発生したことで、「記録的短時間大雨情報」が16回にわたって発表されるほど記録的な大雨が降り続いたことです。

それにより、貯留量13,200m³（小学校プール35杯分）下川原雨水貯留管は9/23の20時10分から流入開始しましたが、22時40分には満水となってしまいました。

下川原雨水ポンプ場も6台全台のポンプが稼働しましたが、それを超える降雨となったため内水氾濫となってしまいました。

川原地区の浸水被害状況(10/7時点)



川原自治会連合会自主防災会では、発災時より町内の見廻りを実施し、川原小学校とかわはら会館に避難所を開設するなど、川原地区の被害を最小限にとどめるよう努めてまいりました。

これまでの浸水対策もあって平成15・16年度の大雨による浸水被害までは至らなかったものの、河川や排水路の氾濫による道路冠水から80台近くもの車両が冠水し、多数の床上・床下浸水被害となりました。

営業再開まで1ヵ月近くの時間を要した事業所もあり、各自治会が迅速に連携し対応したことで今回の浸水被害により発生した災害ゴミの集積と撤去が速やかに実施できましたが、災害ゴミの多さが川原地区の被害状況を深刻に物語っていました。

